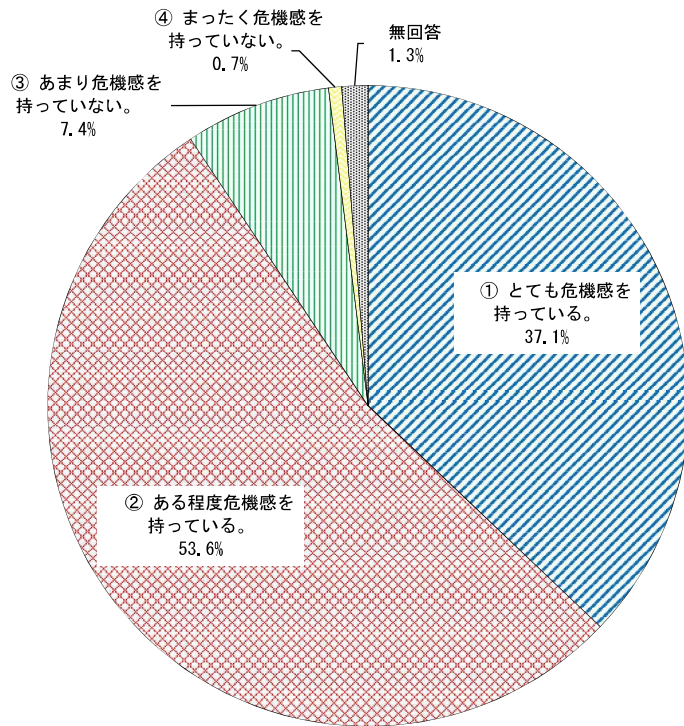


Ⅱ 地球温暖化や地球温暖化による気候変動への影響に対する意識について

設問2. あなたは、地球温暖化や地球温暖化による気温の上昇、降水量の変化などの気候変動への影響について、どの程度の危機感を持っていますか。

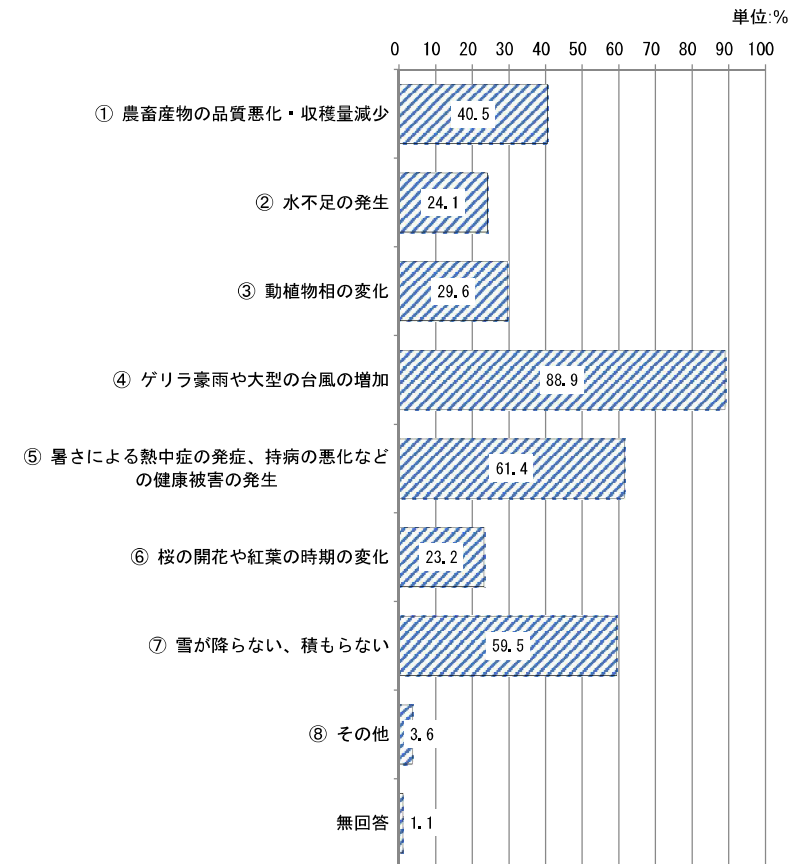
回答者数 750人



「とても危機感を持っている」「ある程度危機感を持っている」が約90%を占めており、「地球温暖化」について、危機感を持っていることがわかる。

設問3. あなたは、日常生活の中で、どのようなことに気候変動の影響を感じますか。

回答者数 752人

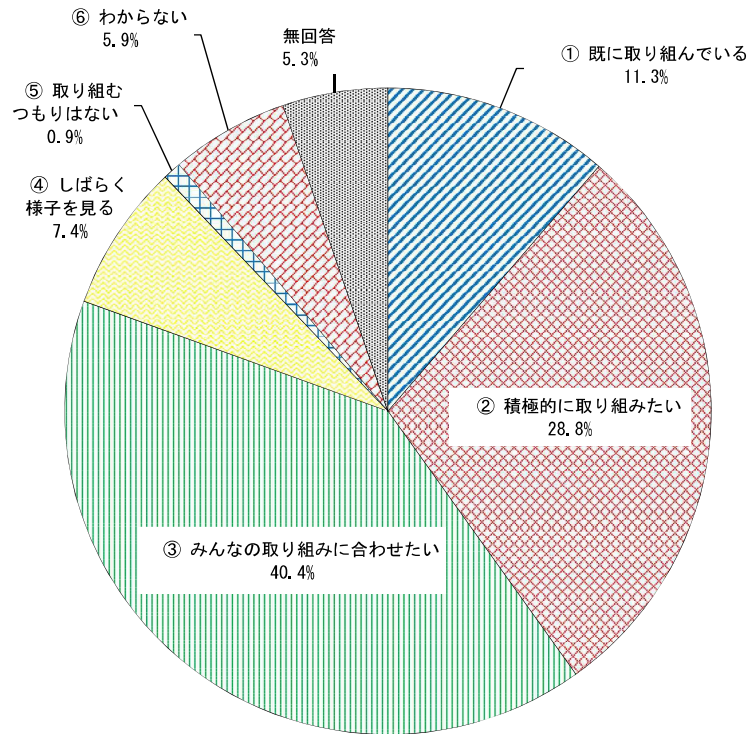


「ゲリラ豪雨や大型の台風の増加」が約90%、気温上昇による健康被害の発生が約60%を占めており、気候変動は地球温暖化による影響だという認識を持っていることがわかる。

設問 4. あなたは、地球温暖化や気候変動への影響に対し、どのように取り組みたいと考えていますか。

1. 温室効果ガスの排出を減らすことで、地球温暖化を抑える取組

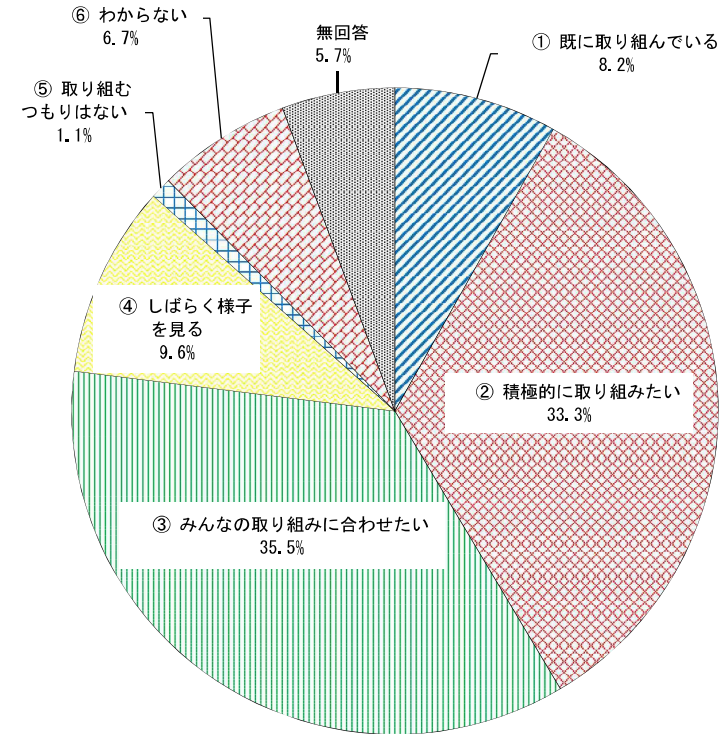
回答者数 720 人



「既に取り組んでいる」「積極的に取り組みたい」「みんなの取り組みに合わせたい」が約 80%を占めており、地球温暖化対策に意欲的である市民が大多数であることがわかる。

2. 気候変動の影響に負けずに暮らしていくための取組

回答者数 717 人

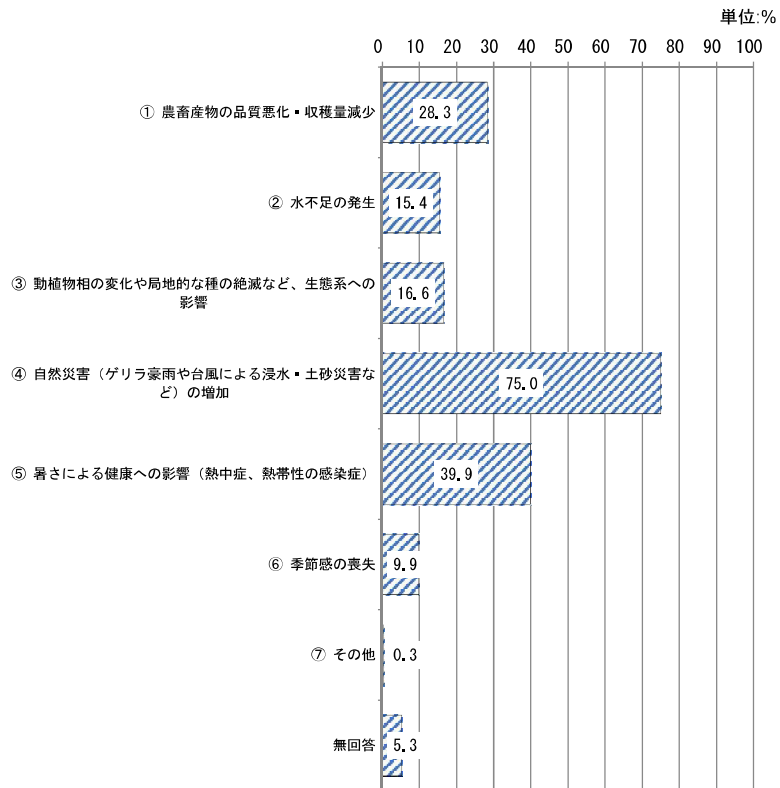


「既に取り組んでいる」「積極的に取り組みたい」「みんなの取り組みに合わせたい」が約 80%を占めており、地球温暖化対策に意欲的である市民が大多数であることがわかる。

IV 気候変動の影響に負けずに暮らしていくための取組について

設問 10. 地球温暖化による気候変動は、色々な分野に影響を与えていると考えられています。あなたの暮らしの中で、気候変動の影響について、特に心配なことを2つまで選んでください。

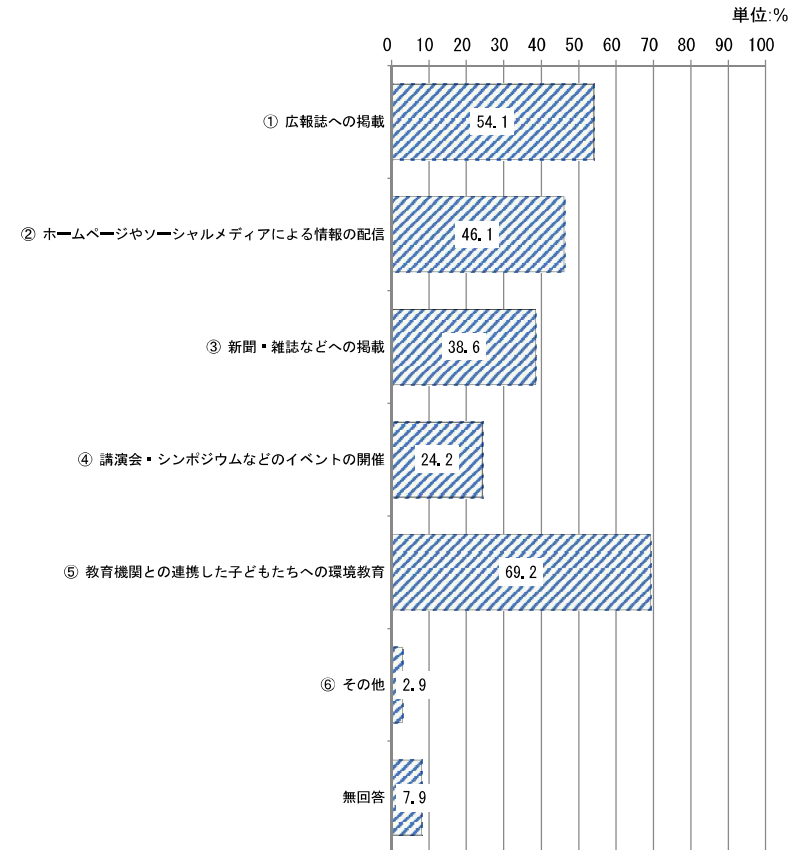
回答者数 720



「自然災害」が約75%、「気温上昇による健康被害」が40%と、直接的な被害を心配している市民が多いことがわかる。

設問 13. 地球温暖化対策などの普及啓発は、どのような方法が効果的だと思いますか。あてはまるもの全て選んでください。

回答者数 700



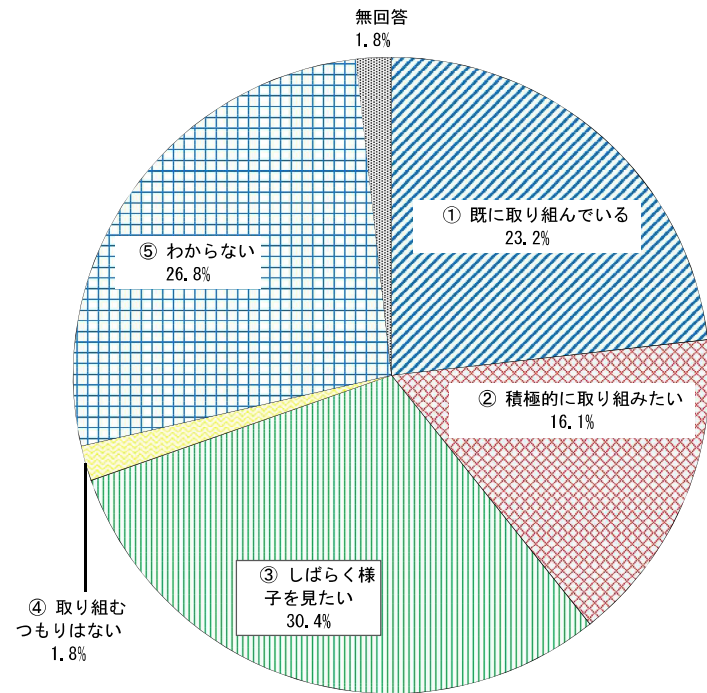
「教育機関との連携した子どもたちへの環境教育」が約70%と、地球温暖化対策の普及と、次世代を担う子どもたちへの教育を兼ね備える方式が最も効果的だと考えていることがわかる。

Ⅱ 地球温暖化や地球温暖化による気候変動への影響に対する意識について

設問 4. 貴事業所では、地球温暖化や地球温暖化による気温の上昇、降水量の変化などの気候変動への影響に対し、どのように取り組みたいと考えていますか。

1. 温室効果ガスの排出を減らすことで、地球温暖化を抑える取組

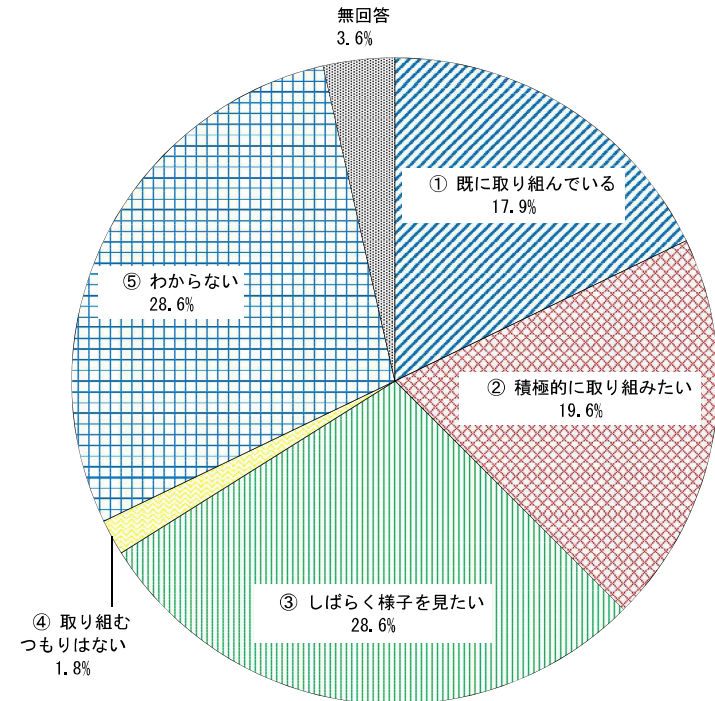
回答数 55



「しばらく様子を見たい」「わからない」が約60%であり、取組の方法がわからない事業所が多いことがわかる。

2. 気候変動の影響に備えた事業活動

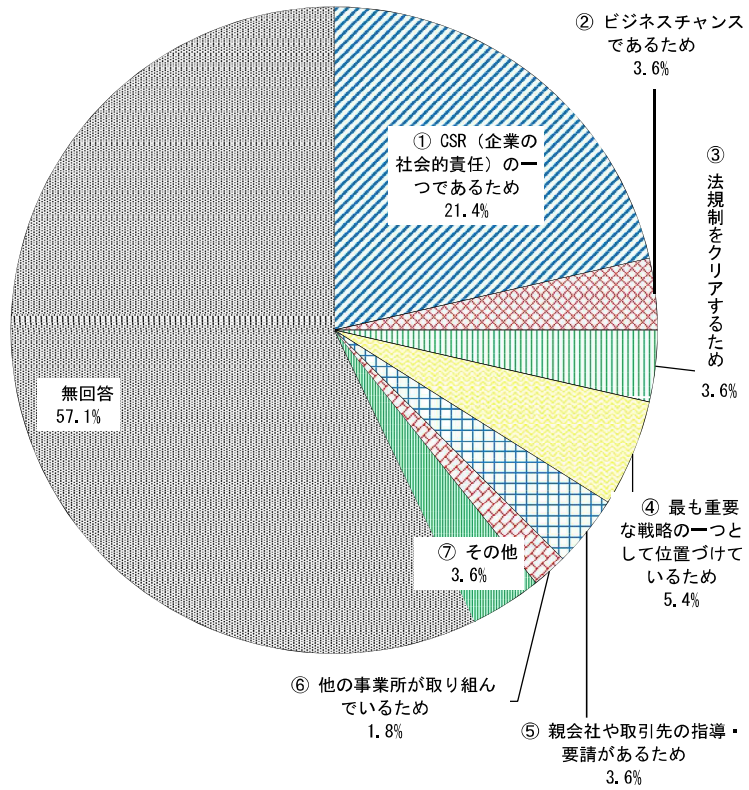
回答数 54



「しばらく様子を見たい」「わからない」が約60%であり、気候変動対策の取組方法がわからない事業所が多いことがわかる。

設問 5. 設問 4 で「① 既に取り組んでいる」「② 積極的に取り組みたい」と回答した方にお聞きします。貴事業所の取組の動機について、あてはまるものは何ですか。

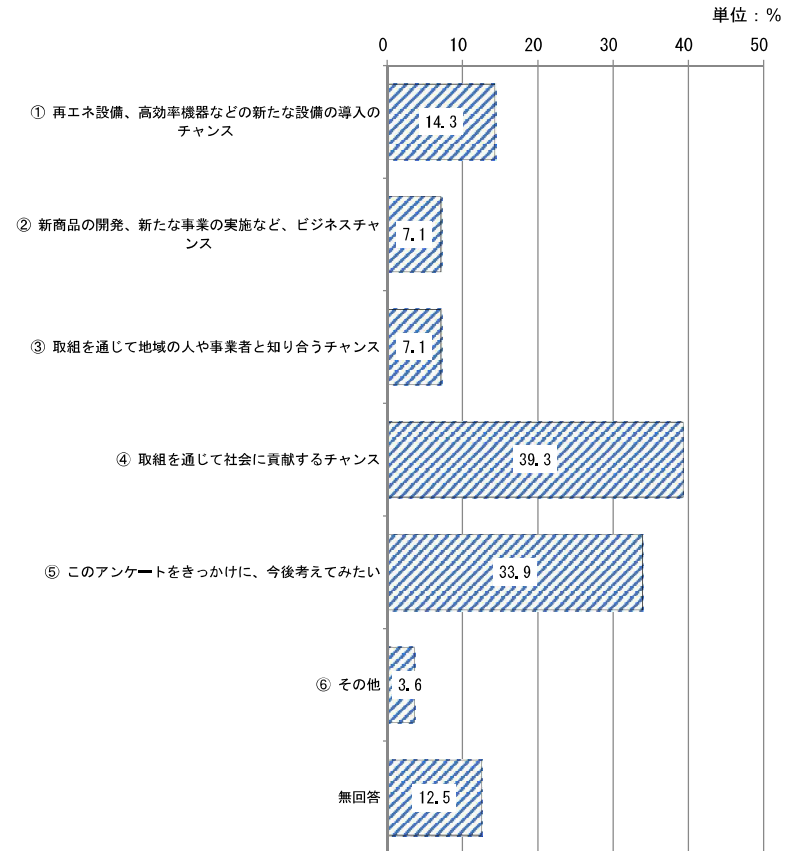
回答数 24



「CSR（企業の社会的責任）の一つであるため」が約 20%と最も高く、CSR を地球温暖化や気候変動への影響に対する取組の動機としている事業所が最も多いことがわかる。

設問 6. 貴事業所にとって、地球温暖化や気候変動への影響に対する取組はどのような「チャンス」となり得ますか。

回答数 49

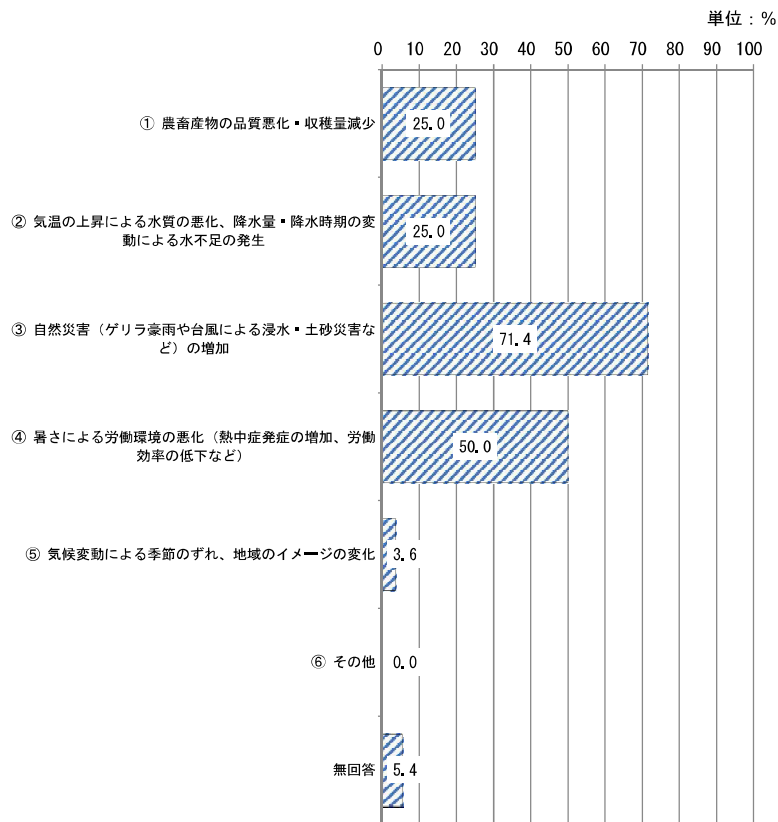


「取組を通じて社会に貢献するチャンス」が約 40%であり、地球温暖化や気候変動への対策が地域への貢献と考えている事業所が多いことがわかる。

IV 事業活動への気候変動の影響について

設問 12. 気候変動の影響は、今後想定される地球温暖化の進行により、影響の重大化、影響を受ける分野の増加が懸念されます。事業を行う上で、特に危惧されることを2つまで選んでください。

回答数 53

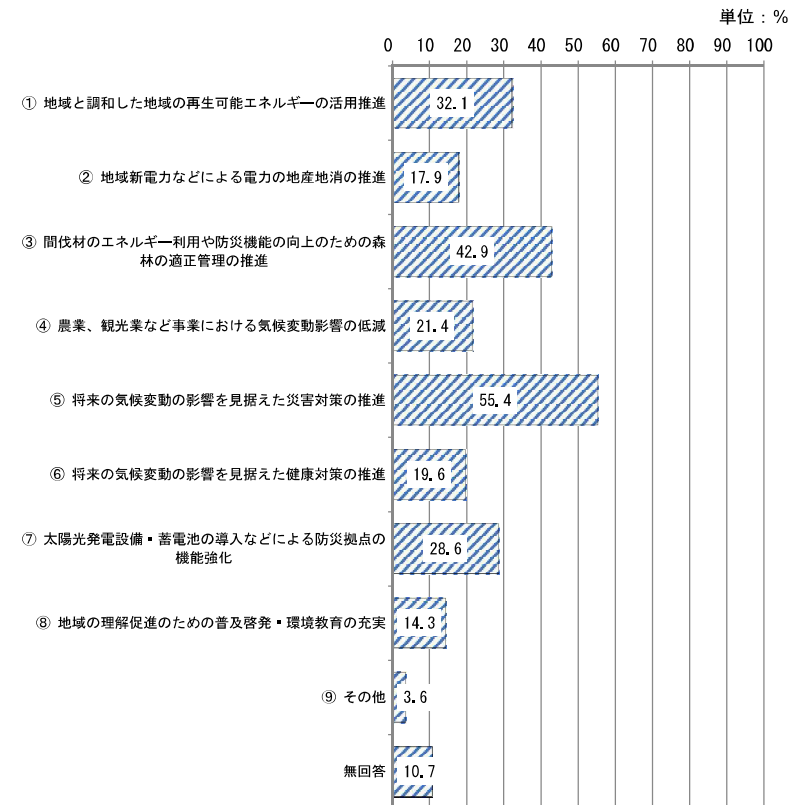


「自然災害」が約70%であり、自然災害の影響を危惧している事業所が多いことがわかる。

V 地球温暖化対策の推進による「持続可能なまちづくり」の取組について

設問 15. 「持続可能なまち那須塩原市」を実現するために、特に必要だと思うことは何ですか。3つまで選んでください。

回答数 50



「将来の気候変動の影響を見据えた災害対策の推進」が約55%「間伐材のエネルギー利用や防災機能の工場のための森林の適正管理の推進」が約40%であり、持続可能なまちづくりの中で、災害の影響を受けにくいまちづくりを重要視していることがわかる。